

豊橋市上水道施設多米配水場旧配水池（ためはいすいじょうきゅうはいすいち）：土木構造物
1 基/多米町字蟬川 33 - 149/鉄筋コンクリート造、面積 1,230 m²/昭和 4 年/豊橋市上下水道局

多米配水場旧配水池は、半地下式の構造で地上部は縦 56 m×横 30mの範囲が周囲より 1.5m程高い平坦地となり、長辺中央の両側には「通路入口」建物が付いています。

この建物は、同形・同規模で、間口 2.7m×奥行 3.1mを測ります。外壁基礎部分に花崗岩が積まれ、壁は底軒下までタイル貼り、隅部は段落とし貼りとなっています。出入口部分は曲面を持った石縁枠の尖頭等辺アーチで、ゴシック風建築となっています。

建物内部には、配水池通路に続く階段があります。内部は、通路両側に相似形の配水池を南側が 1 号池、北側を 2 号池として配し、通路の両側は

被覆土の土圧や天井をコンクリートアーチ梁で受けた連続窓となっています。二つの配水池は、鉄筋コンクリート、ラーメン構造で、流導壁を利用した柱建て、コンクリートスラブ打ちとなります。

2 池は、共に縦 24.3m×横 24.3m、天井高 4.9mの直方体で、貯水面は 4.0 mで、有効貯水量は約 4,708 m³です。

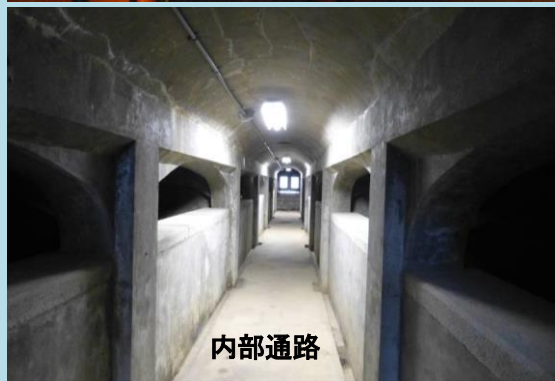
なお多米配水場旧配水池は、平成 19 年(2007)まで使用されていました。



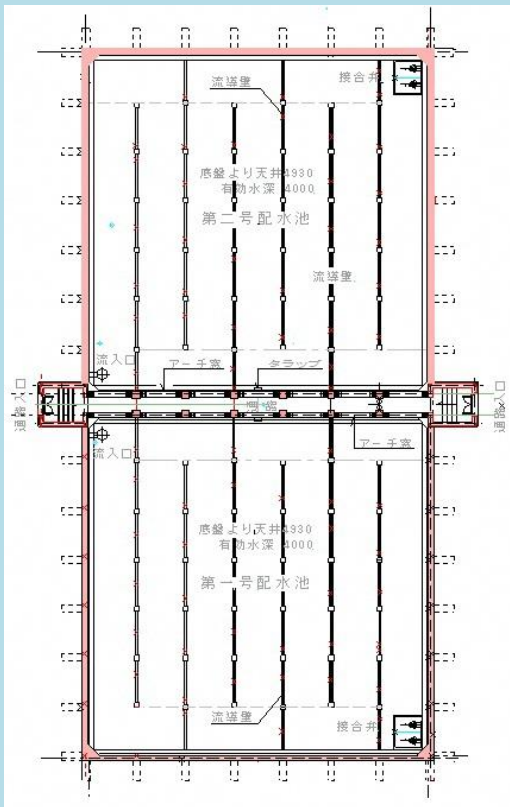
通路入口



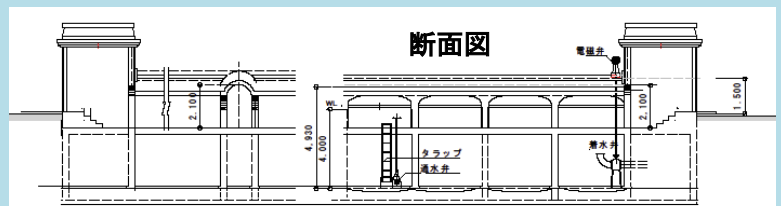
配水池内部



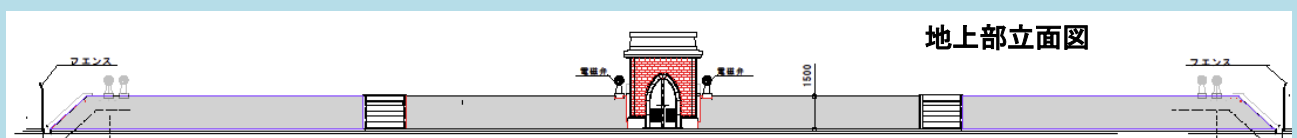
内部通路



内部平面図



断面図



地上部立面図